

2019年度入学 生徒募集 推薦基準について

I. 単願推薦

下表のいずれか1つの数値を満たしていること。

科別	コース	1学期又は2学期 (前期)の通知表 及び調査書		偏差値	
		5段階評価			
		9教科	5教科	5教科	3教科
普通科	特進選抜	38	21	61(2回)	
	特進	34	19	58(2回)	
	選抜α	32	17	55(1回)	
	選抜	31	16	53(1回)	
	進学	28	15	50(1回)	
商業科	総合進学	23	13	47(1回)	
	情報進学				
学業特待		以下の(5)参照		5教科:65(2回)	
スポーツ推薦		各コースの基準に準じる			
スポーツ特待		27	15		

II. 併願推薦

下表のいずれか1つの数値を満たしていること。

科別	コース	1学期又は2学期 (前期)の通知表 及び調査書		偏差値	
		5段階評価			
		9教科	5教科	5教科	3教科
普通科	特進選抜	40	22	63(2回)	
	特進	38	21	61(2回)	
	選抜α	35	19	58(1回)	
	選抜	33	17	56(1回)	
	進学	31	16	54(1回)	
商業科	総合進学	28	15	50(1回)	
	情報進学				
学業特待		入試成績上位者 以下の(5)参照			

* 10段階評価の成績条件については入試担当対応。

学校推し 自己推
両方OKの時
自己推し (学校に年内
取らせな。トラン不立)

(1) 偏差値について

- 数値は単願、併願ともに3年生の7月(第3回)以降のものとする。(校長会参考程度)
- 特進選抜・特進=3教科又は5教科=上位2回(加算してから除算し四捨五入)
- 選抜α・選抜・進学・総合進学・情報進学=3教科又は5教科=上位1回(四捨五入)

(2) 推薦(単願・併願)における欠席日数制限について

- 「調査書」記載の3年次欠席日数合計が15日を超えた場合は原則として「一般受験」扱いとなる。(成績上がった) 再相談
- 怪我・病気入院等による一時的な欠席の場合は考慮する。

(3) 推薦(単願・併願)における5段階評価「1」の制限について

「調査書」記載の3年次9教科の5段階評価において、評価「1」があった場合は原則として「一般受験」扱いとなる。

(4) 数値の優遇について<単願・併願とも偏差値のみ適用/通知表(内申)の加点なし> * 偏差値:7月(第3回)以降の数値

【単願推薦】 * 特進選抜と学業特待は適用外 下記の(ア)~(ク)のいずれかに該当 =偏差値「数値2」まで優遇	【併願推薦】 * 全てのコースで適用 下記の(ア)~(ク)のいずれかに該当 =偏差値「数値1」優遇
--	--

優 遇 項 目	(ア) 英検3級以上 (イ) 漢検3級以上 (ウ) 数検3級以上 (エ) 3ヵ年皆勤(遅刻・早退は各学年でいずれか1回まで) 【特別活動(3年間)において以下に該当する場合】 (オ) 個人、団体問わず部活動等の成績が県大会・県コンクール入賞以上、またはそれと同等の成績を収めた者 (カ) 生徒会会長、副会長 (キ) 部活動の部長 (ク) 委員会の委員長
------------------	---

(5) 学業特待について(対象は特進部のみで、年度毎に見直しあり)

【単願推薦】 4月以降の5科の偏差値上位2回を四捨五入し、ともに65以上であること。かつ、調査書において5段階評価で「2」がないこと。以上の基準に加え、出欠状況、人物などを踏まえ、総合的に判断する。 <特典> 入学手続き時の費用及び各年度始めの諸費用の免除。規定による奨学金を毎月給付。	【併願推薦】 入試での成績上位者 A=55外、B=55.66(入試の55) 特進3人=110 学業特待A<特典> 入学手続き時の費用及び各年度始めの諸費用の免除。規定による奨学金を毎月給付。2名 学業特待B<特典> 入学金の免除。112名
--	--